

## 令和元年度 彫刻美術館事業計画

### 1 彫刻美術館事業活動

#### (1) 展示活動

概要 中原悌二郎の全12作品や歴代の中原悌二郎賞受賞作品などの常設展示を通じて、館が誇る収蔵作品の魅力をわかりやすく伝えるとともに、外部機関や団体との協働を図ることなどにより、できるだけ多彩な展示内容の企画展を開催し、リピーター層の確保に努めていく。

なお、展示の入替えの際は臨時休館して作業を行う。

ア 本館及び別館の展示内容 常設展示，企画展，収蔵品展～別紙案のとおり

#### (2) 教育普及活動

概要 彫刻の解説を聞く，制作を体験するといった市民対象の事業を実施し，見るだけでは分からないことや体験して感じられる部分を伝えることで，彫刻を愛好する層の拡大に努める。

##### ア 旭川彫刻散歩

(ア) 実施時期 令和元年7月下旬～8月上旬

(イ) 内容 市民を対象に，旭川市内の野外彫刻について親しむ機会を設けながら，彫刻に対する理解を深めてもらうことを目的に市内の野外彫刻等を講師の解説を交えながら鑑賞する。

(ウ) 定員 一般20名（市マイクロバス乗車定員）

##### イ こども彫刻教室

(ア) 実施時期 ①令和元年 8月上旬（夏休み期間中）

②令和元年12月中旬（冬休み期間中）

(イ) 内容 小学生とその保護者を対象として簡易的な彫刻制作を体験する機会を設ける。具体的な制作テーマや素材，完成した作品の展示等については講師と相談し決定する。

(ウ) 定員 親子10組程度

- (エ) 会場 本館研修室, ステーションギャラリー  
(オ) 講師 市内在住の大学教授, 彫刻家, 関連団体等から選任

### (3) 彫刻巡回展示事業

概要 児童や生徒及び父母等に優れた彫刻作品を身近な環境で鑑賞してもらうために、市内の小中学校等を対象にして彫刻美術館が所蔵する作品を巡回展示する。  
また、巡回展示実施校のうち希望校を対象として、巡回展示作品を鑑賞する出前授業を実施する。  
なお、巡回展示は当館の単独事業であるが、出前授業については旭川地域連携アートプロジェクトの一環として、旭川市教育研究会図工美術部、北海道教育大学旭川校との協働により実施する。

#### ア 彫刻巡回展示

- (ア) 時期 I期, II期, III期, IV期, V期(6月~12月)  
(イ) 内容 彫刻美術館収蔵作品を4~5点ずつの4つのグループに分け、固定用の台座とともに市内小中学校等に各期4校ずつ巡回展示する。

#### イ 出前授業

- (ア) 時期 巡回展示作品の展示期間中に実施校の希望日に実施する。  
(イ) 内容 巡回展示作品を使用した彫刻鑑賞授業を行う。  
出前授業は旭川地域連携アートプロジェクトの一環として運営しており、同プロジェクト内の巡回展出前授業ワーキンググループで実施内容の精査検討や授業者の調整、派遣を行っている。

### (4) 文化芸術巡り

概要 彫刻美術館の建物は国の重要文化財に指定されているが、「旧旭川偕行社」を含めた市内の文化芸術関連施設等を巡るバスツアーを実施し、彫刻をはじめ、旭川市における文化関連施設の多様さや各々の施設等の貴重さを周知する機会とする。

- ア 時期 令和元年9月中旬  
イ ところ 市内一円  
ウ 定員 一般40名

## 2 旭川彫刻フェスタ事業

概要 市の各部局と北海道新聞社，市内の美術関係者が実行委員会を組織して野外彫刻公開制作を中心とした市民参加型の事業を平成12年から実施している。野外彫刻公開制作は隔年で行っており，令和元年度は公開制作作家の選定と作家による下見などを予定している。また，記録集の発行を予定している。なお，事業の詳細は実行委員会内の企画部会で協議・決定する。

### (1) ソフト事業の実施

ア 実施時期 令和元年8月

イ 内容 市民が彫刻に親しむことをテーマとして，ワークショップ等を開催する。

### (2) 記録集の作成

ア 実施時期 令和2年2月

イ 内容 彫刻フェスタ2017-2018記録集の作成

## 3 野外彫刻維持管理事業

概要 野外に設置してある75点の彫刻を良好な状態に維持管理するために，ボランティアによる定期的な清掃活動やワックスの塗布を行うとともに，亀裂や脱色等の傷みのある作品を修復する。

### (1) 野外彫刻清掃ボランティア「旭川彫刻サポート隊」

ア 人数 平成30年度 166人

イ 活動内容 野外彫刻の水洗い清掃，ワックス塗布，周辺環境整備を夏期間は毎月1回（計4～5回），冬期間中の除雪点検を1回程度実施。

ウ 活動方法 市全域を8つに分け，9班体制で受け持ちの地域と作品を決めて活動する。活動日は班ごとに決定する。

## 4 中原悌二郎賞

概要 昭和45年の創設以来，国内で発表された日本人作家の彫刻立体作品のうち，最も優れた作品に中原悌二郎賞を贈呈している。受賞作品は市費で購入し，彫刻美術館の収蔵作品とする。平成15年の第33回から隔年実施のビエンナーレ形式としており，令和元年度は実施年に当たる。

ア 第41回中原悌二郎賞選考委員会

(ア) 実施日時 令和元年 6月 8日 (土)

(イ) 会 場 OMO7旭川

(ウ) 内 容 平成29年(2017年)4月1日から平成31年(2019)年3月31日の間に、国内で発表された日本人の彫刻及び立体作品を対象にし、選考委員会による審議により、第41回中原悌二郎賞を選考する。

イ 第41回中原悌二郎賞贈呈式

(ア) 内 容 受賞作家への贈呈式、記念講演会等を開催する。

(イ) 日 時 令和元年10月6日 (日)

(ウ) 会 場 大雪クリスタルホール

5 各種団体への協力等

概 要 市内や道内の各種機関、団体等からの依頼に応じて講師の派遣や彫刻美術館での作品等の解説などを行い、市民の彫刻への理解関心を深めるよう努める。

(1) 中央中(旧常盤中)学校彫刻清掃

ア 実施時期 令和元年5月頃

イ 内 容 地域奉仕活動の一環として、過去30年に渡り市内中心部の野外彫刻清掃を実施している。彫刻美術館は、買物公園や本庁舎の水道栓使用申請に係る各部局との連絡調整と、脚立やスポンジの貸出しなどの協力を行う。

(2) 講師等派遣

ア 内 容 公民館講座やシニア大学等の各団体が主催する事業について、要請を受けて職員を派遣し、彫刻と旭川をテーマとした講話を実施する。

6 社会教育施設との連携

概 要 社会教育全体の振興と各施設の利用促進のため、市内の社会教育施設が連携し協働して事業を実施する。

(1) 教員のための博物館の日

- ア 実施日 令和元年 7月～8月（夏休み期間中）
- イ 会場 未定
- ウ 内容 学校教育における博物館施設利用の促進のため、博学連携の理解を図る目的で、学習体験ブースの設置とシンポジウム等により、博物館施設の具体的な利用方法を教員及び教育関係者に対して実施する。

(2) 文化の日スタンプラリー

- ア 実施日 令和元年11月3日（金）
- イ 内容 中央図書館，科学館，博物館，井上靖記念館，彫刻美術館，ステーションギャラリーを対象とした景品付きのスタンプラリーを実施し，各施設の周知普及に努める。併せて彫刻美術館では独自のクイズラリーを実施し，来訪者の興味関心を引くよう努める。

## 7 博物館実習

概要 登録博物館として期待される社会的責務に応えるとともに当館の運営と活動に関する理解層の拡大を図るため，大学からの要請を受けて博物館実習を実施する。

- (1) 実施時期 令和元年10月下旬からの2週間程度（実日数10日間）
- (2) 内容 博物館の運営と事業に関する講話，事業体験，仮想企画立案演習等
- (3) 対象 大学生1～4名程度

## 8 作品管理

概要 彫刻美術館では，中原悌二郎と周辺の近代彫刻家の作品，中原悌二郎賞受賞作家の作品，旭川と北海道ゆかりの彫刻家の作品，の3つを方針として作品収蔵を行っており，平成30年度末現在，彫刻作品309点，平面作品897点を収蔵している。また，その他に彫刻作品の石膏原型や資料作品を多数収蔵している。

なお，近年は中原悌二郎賞受賞作品以外の購入費は予算付けされていないことから新収蔵は寄贈によるものが主となっている。

- (1) 作品保管      彫刻美術館本館の収蔵庫及び展示準備室，ステーションギャラリーにある2室の収蔵庫で保管している。  
    企画展等で大型の作品や重量のある作品を移動する際には，館職員と公用車では対応できないため，運送業者への業務委託を要する。
- (2) 作品貸出      公立，私立等を問わず，作品の使用目的が公共性を有する展示の場合は当館の収蔵作品を積極的に貸出し，館の周知に努めている。貸出しの際には損害保険への加入など適切な作品管理を求めているが，貸出料は徴収していない。貸出しの要請を受けた場合は随時検討する。

令和元年度 彫刻美術館展示内容

彫刻美術館本館(旧旭川借行社)・企画展		ステーションギャラリー	
(H30)～6/9	「平面コレクション展～連作とイメージの魅力」 旭川市彫刻美術館が所蔵する約900点の彫刻家の平面コレクションの中からテーマを決めて紹介する。この企画展では、作家がシリーズとして描いた作品また、同じイメージで描いた作品をⅠ期、Ⅱ期に分けて紹介する。	(H30)～6/2	「思索するアカデミズム～加藤顕清展」 中原悌二郎とともに旭川と深いかわりをもつ加藤顕清をOMO7旭川から寄贈を受けた新収蔵作品を中心に紹介する。併せて市内の野外彫刻として設置されている作品も写真パネルとして展示・紹介する。
6/15～9/1	「収蔵品展①」 彫刻美術館の所蔵する作品のなかから、常設展示していない彫刻を中心に、テーマを設けて紹介し、市民に彫刻に対する理解の拡充に努める。	6/4～6/23	「建築展」
		6/27～7/30	「収蔵品展」 彫刻美術館の所蔵する作品のなかから、旭川・北海道ゆかりの彫刻家の作品を中心に展示し、夏季観光シーズンに向けて市民及び観光客の本館への誘導を図るとともに彫刻に対する理解の拡充に努める。
		8/3～9/29	「チェアーズギャラリー展 Ⅰ期」
9/7～12/1	「中原悌二郎賞展」 中原悌二郎賞贈呈の年にあたることから、過去の受賞作・受賞作家を中心に中原悌二郎賞をテーマとした作品を展示する。併せて、本年度(第41回)の受賞作のお披露目も行う。	10/3～11/27	「大学生作品展2019」 大学生による作品を作品展を開催し、若い世代の作品発表の機会を創出する。
		11/30～3/1	「チェアーズギャラリー展 Ⅱ期」
12/7～3/15	「平面コレクション展」 旭川市彫刻美術館が所蔵する約900点の彫刻家の平面コレクションの中からテーマを決めて紹介する。素描・版画など彫刻とは異なった彫刻家の世界を紹介する。	3/5～(次年度)	「収蔵品展」 彫刻美術館の所蔵する作品のなかから、旭川・北海道ゆかりの彫刻家の作品を中心に展示し、市民及び観光客の本館への誘導を図るとともに彫刻に対する理解の拡充に努める。
3/21～(次年度)	「収蔵品展 ②」 彫刻美術館の所蔵する作品のなかから、常設展示していない彫刻を中心に、テーマを設けて紹介し、市民に彫刻に対する理解の拡充に努める。		